

## 市長メッセージ<福岡コロナ警報の発動>

第2波といわれる夏場の感染拡大期を大きく上回るペースで、連日多数の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されています。福岡県でも、感染者数の増加、病床稼働率の上昇などを受け、12月12日に「福岡コロナ警報」が発動され、県民の皆さまへ感染防止対策の徹底がお願いされています。

専門家は今後の「爆発的感染」についても言及しており、このまま感染者数が増加していけば医療供給体制や市民生活に重大な影響を及ぼしかねませんし、既に医療供給体制が危機に瀕している自治体もあります。

医療供給体制の崩壊は、感染症対策に支障を来すばかりか、一般の方々の治療や手術を施すことができなくなるなど、市民生活が麻痺することになります。また、経済活動にも大きな影響を及ぼすことになり、このような事態は絶対に避けなければなりません。

これ以上、事態を悪化させないためには、市民の皆さま一人ひとりの協力が欠かせません。マスクの着用や手洗い、3密（密閉、密集、密接）の回避といった基本的な感染対策の徹底を改めてお願いいたします。

また、今回の感染拡大は家庭内で広がっていることも特徴です。家庭内でも細心の注意を払っていただき、生活への「新たな日常」の浸透もお願いいたします。

一方では、希望が持てるニュースもあります。国外の一部の国では、感染症のワクチン接種がついに始まりました。コロナ禍を速やかに終息させる可能性があるワクチンや治療薬の効用に心から期待を寄せます。

市では、国内においてワクチンが実用化された場合に、速やかに必要とする市民の皆さまが接種できるように体制づくりを既に始めています。

また、新たに高齢者や障害者施設などで働く方々への無料PCR検査や、事業者の皆さまへの資金繰り支援の拡充などに取り組んでいるところです。今後も出来る対策を速やかに講じていきますので、市民の皆さまのご協力を改めてお願いいたします。

コロナ禍において、市民の皆さまが心待ちされていた祭りやイベントを中止せざるを得ない状況が続いており、残念な思いをされている方々が多くいらっしゃると思います。私としましては、一刻も早く感染症が終息し、平穏な日常を取り戻せることを心から祈念しています。

令和2年12月14日

久留米市長 大久保 勉